



平成31年4月 認可保育園入園案内



詳細は「入園申込みのしおり」(保育サービス課・区HPで入手可)をご覧ください。ご不明な点は保育サービス課までお問い合わせください。

一次選考受付期間=11月30日まで

●11月16日~平成31年2月17日に生まれるお子さん=1月7日まで
※締切日を過ぎた場合でも受け付けますが、二次選考からの対象になります。
保護者が就労・求職中、病気、出産、介護などの理由でお子さんを保育できない世帯

11月18日(日)にも受け付けを行います

平日の申し込み手続きが困難な方はご利用ください。保育サービスアドバイザーに相談受付もできます。

●時間 午前9時~午後4時 区役所本庁舎3階

以下の申込先へ必要書類を持参(郵送不可)

保育サービス課保育利用支援担当 ☎5744-1280 FAX5744-1715
生活福祉課相談係

●大森 ☎5843-1028 ●調布 ☎3726-0791

●蒲田 ☎6715-8800 ●稲谷・羽田 ☎3741-6521

年末保育

12月29・30日に保護者が就労などのため、家庭で保育できないお子さんを保育します。申し込みが多い場合は希望の園でお預かりできないことがあります。 ※今年は5園で実施します。

●実施園 大森北・池上第三・田園調布二丁目・稲谷・蒲田本町保育園

●保育時間・料金 午前7時30分~午後6時30分、1人1日3,000円

以下のいずれかに該当する生後4か月以上の未就学児
①区内の認可保育園、東京都認証保育所、小規模保育所、定期利用保育室などに在籍②区内在住で集団保育が可能
選考で各60名

③所定の申込書(区立保育園と問合先で配布)と勤務証明書(保護者全員分必要)を区立保育園か問合先へ持参。問合先のみ郵送も可。受付は11月12~30日(必着)

④保育サービス課管理係(〒144-8621大田区役所)
☎5744-1279 FAX5744-1715



おおた住まいづくりフェア

親子工作体験、防災対策PR、住宅・空家相談、助成制度紹介など

11月18日(日)午前10時~午後4時

産業プラザ

当日会場へ

建築調整課建築調整担当

☎5744-1382 FAX5744-1558



アプリコ&プラザ・催し物案内

詳細は情報誌「Art Menu」をご覧ください。特別出張所や図書館、文化センターなど区内の主な施設や駅で配布しています。
★特記事項のない公演への未就学児の入場はご遠慮ください。

人形浄瑠璃 文楽

大夫・三味線・人形が三位一体で醸し出すユニークな無形文化遺産

●新館 【劇】「義経千本桜」

椎の木の段・すしやの段

●旧館 【劇】「義経千本桜」

進行初音旅、【新編】歌舞伎文楽村の段

2019年3月15日(金)

【昼】午後1時30分開演 【夜】午後6時開演

大田区民プラザ大ホール 全席指定

各回3,800円 昼夜セット券7,000円(ほか各種割引有り)

発売日 11月14日(水)

チケット予約専用電話 (午前10時~午後8時) ☎3750-1555

チケットはHPからもお求めいただけます

オンラインは一部対象外の公演を除き5%相当割引(別途手数料有り) https://www.ota-bunka.or.jp/

※発売初日から公演前日午後8時まで下記問合せ先でもチケットをお求めいただけます。

●大田区民プラザ ☎3750-1611 ●アプリコ ☎5744-1600 ●大田文化の森 ☎3772-0700

●松野大田区文化振興協会 ☎3750-1611 ☎3750-1150

次号の区報は | 11月21日号 特集 成年後見制度

11日号・21日号は新聞折込か駅広報スタンド、公衆浴場、区施設で配布。配送サービス(外出困難などの要件有り)も行っていきます。

交通×羽田・穴守



穴守神社は、京浜電気鉄道

を輸送手段に東京近郊の行楽地として栄えました。その後、昭和6(1931)年に東京飛行

場が開場すると人々の

流れは徐々に羽田へと

向かっていきました。

押し寄せる近代化の

波を藤森は絵画で、

大町は驚きをもって

紀行文に記しました。



品川より電車にのりて、大森、蒲田、を経て、羽田に至る。(中略) かくまで市街が出来るものかと、茫然として、しばし祠前に佇立す。

大町桂月「第七 泉岳寺と川崎大師」 東京遊行記明治39(1906)年



藤森静雄「大東京十二景の内 十一月 羽田の秋(東京飛行場)」昭和7(1932)年

関東大震災後に生まれ変わった東京。その新名所を月に1枚紹介している「大東京十二景」の一つとして制作された。この作品は東京飛行場が開場した翌年に描かれたもの。中央左に見える円形ガラス張りのものは当時の待合室。

郷土博物館特別展

作品の中の大田区



一文士・画家の描いた風景

12月24日(休)まで開催中 午前9時~午後5時

(月曜休館。12月24日は開館)

大田区を描いた絵画、書籍、古地図、絵はがきなど紙面で紹介した作品のほか約200点を展示

特別展に関連した催しも予定しています。

1 まち歩き

11月17日(土)=馬込地域 12月2日(日)=大森海岸地域

いずれも午後1時~4時

2 朗読会「朗読で楽しむ馬込文士村」

11月23日(祝)午後2時~4時 郷土博物館

3 講演会①「『馬込の家』-祖父星屋の日常-」

星屋 洲々子(星生屋星記念館 名誉館長)

11月25日(日)午後1時30分~3時 郷土博物館

②「作品にみる住と遊-馬込文士村と海辺の歓楽-」

高嶋 修一(青山学院大学教授)、鈴木 勇一郎(立教大学立教学院史料センター センター員)

12月9日(日)午後1時30分~4時10分 郷土博物館

4 星生屋星離れ(馬込第三小学校内)を見学

11月25日(日)午後3時30分~5時

1~4いずれも◇

先着124各30名 3各80名 14電話23当日会場へ

「川瀬巴水カレンダー2019」販売

表紙は「馬込の月」。四季折々の風景を川瀬巴水の作品でお楽しみください。

●販売場所 郷土博物館、区政情報コーナー、大森海苔のふるさと館、大田区観光情報センター ほか

●価格 1,200円



おおた

区報

私は東京の郊外に、こんな明るい世界があるとは思わなかった。

萩原朔太郎「移住日記」 初出昭和2(1927)年 萩原朔太郎全集第8巻から



作者である服部の自宅から池上方面を望んだ風景を描いた。左側が鐘坂、中央に描かれている道が池上へと続いている。

服部亮英「馬込風景」昭和初期 個人蔵

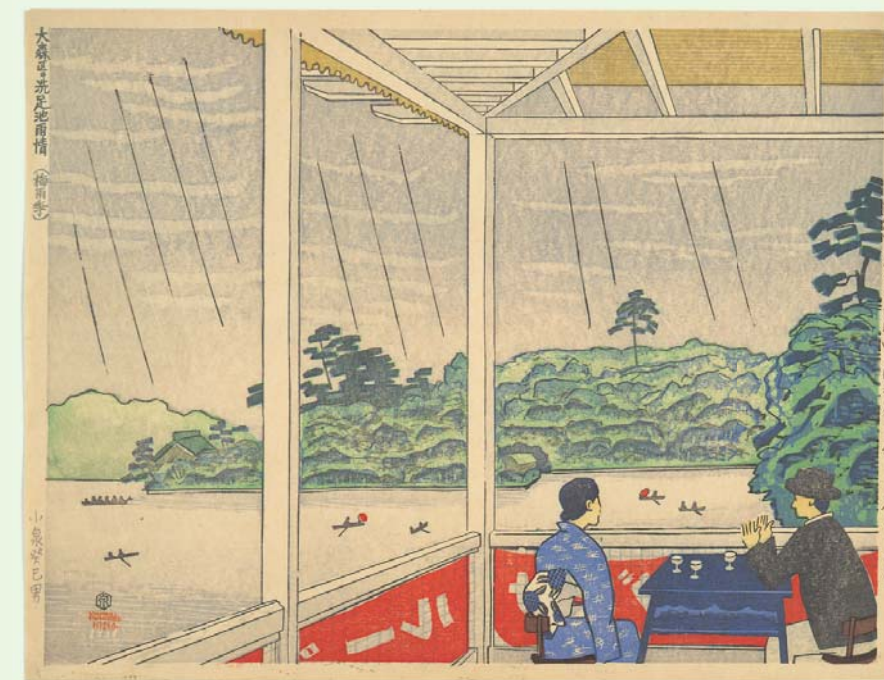
坂×馬込



馬込は、九十九谷といわれるほど、起伏のある土地柄です。古くからその地形は変わっていません。近代以降、画家たちは古き良き馬込の自然を好んで描き、文士は変わりゆく馬込の姿を表現豊かに著しました。



郷土博物館学芸員 眞坂オリエ



小泉栄巳男「大森区・洗足池雨情(梅雨季)」 昭和東京百回絵画展(第94期) 昭和12(1937)年7月作

雨×洗足池



洗足池に降る雨は、美しい池周辺の雰囲気にとっとりとした落ち着きを添えています。近世以来、絵師たちは季節・昼夜・天候を問わず洗足池を描いてきました。その風景は池の埋め立てが進んだとはいえ、今なお当時の風情を残しています。



郷土博物館学芸員 築地貴久

郷土博物館特別展の詳細や、そのほかの催しについては4面をご覧ください。

作品の中の大田区

一文士・画家の描いた風景

江戸の近郊、東京の郊外として親しまれた大田区は、近世以降、浮世絵や紀行文の中で描かれてきました。明治・大正前半は緩やかに変化してきた風景も、それ以降、劇的な変化を遂げます。こうした風景の移り変わりが文士や画家たちの作品の中に残されています。現在、郷土博物館ではそれらの文学作品・絵画を集めた特別展「作品の中の大田区-文士・画家の描いた風景-」を開催しています。当時の面影と、変わりゆく風景を見つめてみましょう。

プレゼント 特別展会期中、この紙面をご持参いただいた方に特別限定のしおりか絵葉書をプレゼント!(先着100名。なくなり次第終了)



特別展の一部を動画でもご紹介!

学芸員が解説します

私は、今、昔の残骸の影さへもなく、何か大工事のはじまっている森ヶ崎の新しい防波堤の前に立って、人間の記憶を蹂躪して過ぎてゆく冷酷無情な時の力について、今更のようにあたらしい感慨に耽った。

尾崎士郎「森ヶ崎」 『わが青春の昭和38(1963)年』



尾崎士郎

まちなみ×森ヶ崎



尾崎士郎は、代表作となる「人生劇場青春篇」の後半部分を森ヶ崎で書き上げました。思い出深いこの地が、目まぐるしいスピードで変わっていく姿を目の当たりにし、都市化の進行をただ受け入れるしか無い虚しさを紡ぎ出しています。

